施策名:安心して子どもを生み育てられる保健・医療の充実

事業名	担当課・局・室名	ページ
小児救急医療体制整備推進事業	医療政策課	2 / 12
周産期医療体制推進事業	健康対策課	3 / 12
妊婦健康診査支援事業	健康対策課	4 / 12
妊婦歯科健診体制整備事業	健康対策課	5 / 12
不妊治療費助成事業	健康対策課	6 / 12
不妊専門相談センター運営事業	健康対策課	7 / 12
妊娠の悩み相談体制整備事業	健康対策課	8 / 12
子ども医療費助成事業	健康対策課	9 / 12
母子保健対策事業	健康対策課	10 / 12
育児不安すこやかサポート事業	健康対策課	11 / 12
ひとり親家庭医療費助成事業	こども子育て支援課	12 / 12

		体制整備推進事業		事業期間	平成 15	年度~平成	年度	上位の 担当課・	施策名 局・室名	安心して子 医療政策課	どもを生み育	育てられる保 [.]	健・医療の発	美
[目的、現場					1	1								
目的	対象県民				┃ 現状・課題			は的な偏在がる	あり、地域(の実情に応じた	た体系的、対	り果的な小児	救急医療提供	共体制の整
Ни	意図 子ど	もを安心して生み	育てられる環	境をつくる	>/L-1/\ 11/\ 12\	備が求められ	れている。							
事業の実施	 拖状況]				=								(単	位:千円
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	E体	コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算
	豪普及 啓発事業		や保護者の不安		•	,	直接実施	県		総コスト	84,801	94,246	92,726	96,8
	市サポート事業		が行う研修等の取		-	-	直接補助	県医師		事業費	81,801	91,246	89,726	93,88
	医療支援事業		見初期救急患者				直接補助	大分	市	うち一般財源	42,242	43,082	43,056	43,0
	京電話相談事業	·	関する電話相談(平日花				全部委託	県		うち繰越額				
	急医療体制整備		初期小児救急患者				直接補助	別府市、豊後大野	I —	人件費	3,000	3,000	3,000	3,0
、児救急医療)二次小児救急患者				直接補助	大分市、別府市			0.30		0.30	0.3
		(リ事業 二次小児救済	急患者を24時間	365日体制で受	け入れるための	り連宮質補助	直接補助	大分県立	Z抦院	「つち一般	「財源」と「つ)ち繰越額」は	[重復する場合	まかある。
事業の成界	!等]													
								指	標名(単位	ī)		D実績	最終	
= ₩ - - - - - -	小児救急患	者の受入体制整備 [·]	や小児救急雷	話相談実施に	より、保護	者が安心し	\				2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度
事業の成果		きる環境の整備が			- OV DV PINE		活動指標	小児救急医療	贫电话怕談鬥	午釵(1十)	6,576	6,767		
	16 I E	5 (W.A.)	\+ -1\					最終達成	±= /==			/44.44		
	指標1	名(単位)	達成度	2 2 年度	23年度	2 4 年度	2 5 年度	(年度)	評価			備考		
		者を受け入れる二	目標値	60.0	66.7	66.7	66.7							
		制が整備された小	実績値	66.7	66.7	66.7			達成					
	児医療圏の割	合(%)	達成率	111.2%	100.0%	100.0%								
県が実施す	する必要性]													
検証(の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と	県による				小旧彩库/	の不足や地域	ぬか偏左が	ナバアハスロ	中で、県全域に	こおける小ほ	数色医療の	女宝を図るた	- xh I= I+
	と踏まえ、県	実施が必要	救急医療	索対策事業実	施要綱	県が事業を行			TO CNIS.	アし、赤土場	C011/2/1/0	J 秋心区况()	ル夫で囚るだ	_WICIA、
よる実施だ	が必要か	711613 ZZ				バガ 子米 C I	1 J Z J Z 13 V.	, G ,						
実施方法の														
	の視点	検証結果			24年度まで					効率性		. ,	左の計算式	
	L、実施方法	図っている	・小児救急医	療電話相談事	事業を(社)	大分県医師会	に委託			2 2 年度	2 4 年度		急医療体制分	
	業務の民間委	(拡大困難)								11,091	11,343		7千円、H24:0	
tなと)を図	図っているか	(307 (117)								千円/医療圏	千円/医療圏	/	小児医療圏(6)
総合評価]													
方向性	見直し(25	年度)事業内容の	拡充	方向性の	判断理由	小児救急医療	寮に対する県	民のニーズが	が高いため					
刀凹性														
万凹注	・南部医療圏	での平日夜間の小	児初期救急医	療体制の拡充	に対する助	戎								

事業名	周産期医療	体制推進事	業		事業期間	平成 22	年度~平成	年度	上位の対担当課・対		安心して子。 健康対策課	どもを生み育	でられる保	建・医療の充	実
[目的、現状	犬・課題]														
□ 6 6	対象 周	産期母子の	医療センタ-	-		TD (1) + B B E	一点	80	r#10755	->-5		+ -			
目的	意図 周	産期医療提	是供体制を整	隆備する		現状・課題	小採昇部	門である周暦	期母子医療 t	ユンターの ほ	を療体制の維持	守か課題であ	ාරං		
「事業の実施							ı							(当	位:千円)
[4.)K 0.) Cit.	活動名				活動内容			執行形態	事業主	·体	コスト	2 2 年度	2 3 年度		25(予算)
総合周産期母	子医療セン	/ター運営	周産期母子	医療センタ-	-運営事業費	補助金(H24	~)	直接補助	県立病	院	総コスト	19,650	18,621	29,187	40,724
費助成				J運営費(6床							事業費	16,650	15,621	26,187	36,724
地域周産期母	子医療セン							直接補助	アルメイク	ダ病院	うち一般財源		72	352	1,085
費助成						CU運営費(6床×12月)〕				うち繰越額				
新生児担当医	医手当助成		新生児担当	医師確保支持	援事業補助金	(H23~)		直接補助	県立病		人件費	3,000	3,000	3,000	4,000
									大分大学医学部			0.30	0.30	0.30	0.40
									アルメイク	ソ 病院	一つち一般	別源」と「つ	ち繰越額」は	生後9 る場合	がめる。
[事業の成果	[等]										1	事業の	の宝徳	旦44	日標
									指	標名(単位)	23年度		目標値	目標年度
事業の成果	周産期母	子医療セン	/ターの医療	景体制が確保 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	された。			活動指標	地域周産期日 NICU病原		/ター	9	12	12	2 4
									NIC U1AJA	N XX (/A)					
	指	標名(単位	.)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (27年度)	評価			備考		
成果指標	甲钳	用新生児死T	- 弦	目標値	0.8	0.8	0.8		(2/午及)						
/及木]日1示		/出生数×		実績値	1.0	1.1	0.5			達成	目標値は	当該年度の全	■国値		
		出生千対		達成率	80.0%		160.0%			~.~	H 13/12/10/12				
「県が実施す	「る必要性)														
	の視点	検証	E結果		活動根拠						説明				
国・市町村・ の役割分担を による実施が	E踏まえ、県	帰に	こよる が必要	周産期医療	蘻対策事業等	実施要綱	国の周産	期医療対策事	耳業等実施要糾	岡により都道	≦府県が実施∃	主体となって	いる。		
「実施方法の		4													
	の視点	検証	E結果			2 4年度まで	の主な効率化	との取組状況			効率性	生指標		左の計算式	
事業の簡素化			いない								2 2 年度	2 4 年度		総コスト/	
の見直し (業 託など)を図	美務の民間委 図っているか		し困難)								9,825 千円/人	4,170 千円/人		ンした早期新 、H22:10人	
[総合評価]															·
方向性	現状維持				方向性の	判断理由	引き続き、)	司産期医療 体	気制を推進する	るため					

事業名	妊婦健康診査	支援事業		事業期間	平成 21	年度~平成	2 5 年度		施策名 局・室名	安心して子 健康対策課	どもを生み育	育てられる保	健・医療の変	充実
目的、現場	犬・課題1													
	対象 妊婦													
目的		・安全な出産ができ	<u></u> きろ		現状・課題	経済的な	理由等により	健康診査を	受診しないな	妊婦がいる。				
	l l	文主な出注がで												
事業の実施	<u> </u>			活動出家			執行形態	事業主	- <i>(</i> + II	771	22ケウ	22ケウ		単位:千円
E婦健康診査		好婦健康 診	企 查支援事業費	活動内容 基補助全(好	婦健康診查	受診費田補	直接補助	事業生		<u>コスト</u> 総コスト	2 2 年度 234.137	23年度 267.904	2 4 年度 277.163	
			₹ 「務費補助)	工() 亚似明	.种性冰砂鱼>	人的貝川間	H M M M	1121-11	13	事業費	231.137	- ,	274,163	,
	/									うち一般財源	,	, , , ,	,	,
										うち繰越額				
									F	人件費	3,000	·	3,000	- , -
									<u> </u>		0.30	0.30 うち繰越額 」は		
事業の成界	日笙 1	l l								,,,	CN3#3C 2		×= 1X / O - % F	_ 1,5 0,5 G °
争未り以え	[]							11-	1.E.O. () ()	- `	事業(の実績	最終	4月標
	が担めは毎	笠田の方宝 レタ汶	5年11年11年1	が回こち ユ	こふしてが振	・山立づき			『標名(単位		2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年月
事業の成果	妊婦の健康 る体制が確保	管理の充実と経済的 された。	り貝担の 軽減	か凶られ、ま	でいして妊娠	・出座でさ	活動指標	補助金による妊	婦一人あたりの)受診回数(回)	6	6		
	S PT-103/3 RE DIC	C 107C0												
	+K-1-#- /	7 (24 / 4)	法代应	2.2左座	2.2/5 🕏	2.455	2.5.45.65	最終達成	÷π /π			/# + /		
	1百億元	呂(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	(27年度)	評価			備考		
成果指標		ホノリネチサ ン	目標値	4.8	4.1	4.0	4.0	3.9	` * -#	2256	ᄓᄵᄼᄆᄪ	±1 + → = >	0.0.5	
		率(出産千対)	実績値 達成率	5.1 94.1%	4.3	3.7 108.1%			達成	23年度	以降の日標1	直はプラン 2	005.	
			上八十	34.170	93.5%	100.1/0								
	ける必要性] の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と			バロまが、以上の		+T+= //h ===	-	1 = 24 1 1	4 m ~ 11 > 1			7 #F 15 4F 📥 1%	→ mT↓↓ ~ □↓7	F-110001-1-1
)役割分担を	E踏まえ、県	市町村による 実施が妥当	母子	P保健法第13	条					れている。(1 攺的支援が必			市町村の財庫	以状況によ
よる実施だ	が必要か	关.旭万女马				り共体もこ		14V1/20/	当になる別	以17.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.	安(ので。)	,		
実施方法0	D効率性]													
	の視点	検証結果			2 4年度まで	の主な効率化	との取組状況				生指標		左の計算式	
	比、実施方法	図れない								2 2 年度	2 4 年度	1713	総コスト/	
)見且し(乳 トカンど)を図	≹務の民間委 図っているか	(見直し困難)								3,531 円/件	4,050 円/件		建康診査受診 308件、H24:	
,										门/計	门/计	(1122.00,0	JOOTT 1124.	OO, TOTIT ,
総合評価] 方向性	 終了(25年	帝士 /		七白州の)判断理由	古町村に並	通六付铅 レー	て措置された	たため					
刀凹注	ぶ」(43年)	又个丿		ハリリゴ主い	ナリめに生田	コリ門がに百.	四文 円 代 C し	/ C1月旦Cイレ/	ובובש					
	I													

事業名	妊婦歯科健診	体制整備事業		事業期間	平成 24	年度~平成	2 6 年度	上位の 担当課・		安心して子 健康対策課	どもを生み育	育てられる保	建・医療の変	充実
[目的、現料	犬・課題]													
目的	対象 妊婦	帚ならびに医療関係	者等		現状・課題	妊婦の口	腔環境悪化((歯周病等)	は早産の原因	国の一つとな	っている。ま	きた、妊婦の	口腔環境の改	女善は、母
מחם	意図 妊婦	帚の早産につながる 値	歯周病等を予	防する	况1八° 武寇	から子への	むし歯菌の伝	伝染のリスク を	を下げる。					
事業の実施	施状況]				=								(単	单位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主		コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	25(予算
£婦歯科健i	参事業		よる3産科医	療施設での歯	樹科健診、歯	科保健指導	一部委託	県		総コスト			4,210	5,64
		の実施	十八月七旬四	左征人						事業費			2,710	
E婦歯科保健	建环修会		大分県歯科(5 1、市町村職)		する砰修会の	の宇体	全部委託	県		うち一般財源			2,710	
上が四個であり	医训修女		大分県歯科医		9 SMINE AV	ノ大ル	土即安心	杰		人件費			1.500	1.50
		21070 .	/ (/) / (E)	2H-F 2					暗				0.15	,
											財源」と「う	ち繰越額」に	重複する場合	合がある。
事業の成界	果等]													
								指	標名(単位)		の実績		目標
= **~+* =		科受診を敬遠してい			》、歯科保健:	指導を行う	・イチレナビナ亜	産科で歯科の			23年度		目標値	目標年度
事業の放果		妊婦の口腔環境のご 科医の連携を図るこ					活動指標	歴代で圏科1		百(人)		400 95		
	圧行区と医	付区の圧肪で囚るこ	- 613. 6012	0				11710云多加2	人致(八)			90		
	指標	名(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (26年度)	評価			備考		
成果指標	±= 1 1/2± ± △ → /:	二、女似后。连州明光	目標値			3	6	9						
7-70-113-113		う う う 定科医療機関数 療機関数)	実績値			3			達成					
	(🗠	7京1茂 天 女X 丿	達成率			100.0%								
	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体とを踏まえ、県が必要か	県による 実施が必要	歯科口腔保	健の推進に関	関する法律	法律第8条 る。	くに記載され	た「歯科健診	を受けるこ	と等」の推奨	∉のためのモ	デルとして県	具が実施する	必要があ
実施方法の	の効率性]													
	の視点	検証結果			2 4年度まで					効率性	生指標		左の計算式	
	七、実施方法	図っている	・事業の評価	検討を除き、	歯科医師会	に委託して第	€施			22年度	2 4 年度		総コスト	
	業務の民間委 図っているか	(拡大困難)								/	11 千円/人	1	/ 建診受診者数	ጳ
総合評価				ナム州の		2.6 年度士	ᅎᄑᅼᆔᆂᆠ	チレーテロザー	ナフたル					
方向性	現状維持			カ内性の	判断理由	∠り中度ま	じてアル事業	€として実施 [™]	9 るにの					

事業名	不妊治療費助成事	業		事業期間	平成 15	年度~平成	年度	上位の	施策名 局・室名	安心して子。 健康対策課	どもを生み育	てられる保信	建・医療の発	実
· 目的、現丬	ナ・課題 T													
		外の不妊治療で	を行った夫婦			- 医療保险	適田外の不妨	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	頭か治療費力	が必要とかる。	ーとがあり	経済的か理解	中で治療を関	f念するま
目的	意図 子どもを	生みたい人が会	生める環境を	つくる	現状・課題	婦がいる。	X2/11/1 V		点.6.11水更加	722660	20000	WT/711.0.57	д С/Д/ж С ш	1100 7 0 7
事業の実施													(単	位:千円 `
- 	活動名			活動内容			執行形態	事業主	E体	コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	
·妊治療費!	力成		種用外の不妊治				直接実施	県		総コスト	63,244	78,319	86,797	91,35
		【助成実績	[】H23 592件	‡ H24 668	件(大分市	を除く)				事業費	61,244	76,319	84,797	89,35
										うち一般財源	34,527	41,917	37,924	48,50
									<u> </u>	うち繰越額				
									77	人件費	2,000	2,000	2,000	2,00
									鞋	战員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.2
	D 65 -									・フゟ一般	財源」と「う	5裸越額」は	.里假9る場合	ゴかのる。
事業の成界	<u> </u>						l I	<u> </u>			事業の	宇结	最終	日堙
								指	[標名(単位)	2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度
事業の成果	不妊治療に伴う		圣減が図られ、	、子どもを生	Εみたい人か	「生めるよう	活動指標	助成件数(作	牛)(大分市	5を除く)	592	668	H IMIL	1 18 1 2
. >10 -0 1-100 0	な環境づくりが促済 	進された。					7,12,33,113,							
					1	1		最終達成						
	指標名(単	単位)	達成度	2 2 年度	23年度	2 4 年度	2 5 年度	(年度)	評価			備考		
成果指標	助成件数((件)	目標値								ないのは、医			
	(大分市を		実績値	491	592	668					て、助成金給	付要綱に基づ	づき、治療費	貴の助成を
	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		達成率							行う事業で	めるため。			
	する必要性]	44=71 = 1		S-21 ID II.		•				±V = 5				
		倹証結果		活動根拠						説明				
	と踏まれ、県 📗 🛓	県による !施が必要 	母子保健衛生	費等国庫補助	加金交付要糾			実施主体を そしまでを必要が またまでも必要が		旨定都市及び「	中核市とされ	ているため、	大分市を防	除く県内地
実施方法の	D効率性 1													
		倹証結果			2 4年度まで	での主な効率化	七の取組状況	•		効率性	生指標		左の計算式	
業の簡素化	化、実施方法 🐰	1 - 7117	・19年度か	ら台帳管理ミ	ノステムを作	F成し、事務を	を効率化			2 2 年度	2 4 年度		総コスト	
)見直し(對	と扱っ P 四禾 以	っている 広大困難)								129 千円/件	130 千円/件	成男	/ 指標の実績	植
総合評価														
方向性	見直し(25年度)				判断理由			度の変更に						
	・平成23年度かり ・平成25年度かり													

事業名	不妊専門相談セ	ンター運営事業		事業期間	平成 13	年度~平成	年度	上位の <u>た</u> 担当課・別		安心して子の健康対策課	どもを生み育	てられる保付	建・医療の充	E 実
	Am 0.5 -							1 担当味・	可・至石	健尿刈泉砞				
[目的、現料	1	. IV. 4. 4. 13.66				I								
目的		悩む夫婦等			現状・課題			医療面・精神			えており、医	学的・専門的	的な相談や不	妊による
	意図 精神的	な支援を図る				心の悩み寺	こついての作	目談ができる体	神が氷の	っれている。				
[事業の実施	拖状況]												(単	位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	体	コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算
下妊専門相語	淡センター運営		んでいる夫婦等	等に対する電	話・面接相詞	炎等	全部委託	県		総コスト	5,143	5,055	5,074	5,13
			: 大分大学	755/# UO4	007/#					事業費	4,643	4,555	4,574	4,63
下妊相談検言	:+ △		責】 H23 7 D実施方法、第		687件		直接実施	県		うち一般財源	2,322	2,269	2,259	2,31
· X工作日 6火作火 6	i) A		ル美加力/広、ま 責】 H24 H2				且按天心	示	-	人件費	500	500	500	50
		M用住人和	[.3.2.20天旭	(牛間)				H:	は員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.0
									40		<u>0.05</u> 財源」と「う	0.00	0.00	
事業の代目	3 年 1						I			22 132			- IX / G-WI	1,3 0,5 0,6
事業の成界	表守 <u>]</u> 										事業の)宝结	最終	日煙
								指	標名(単位	()	2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度
事業の成果		センターの開設	・運営により	、不妊で悩む	〕夫婦等の精	神的な支援	活動指標	相談延べ人数	(人)		755	687	H IMIL	H 18 1 12
3 - 214 - 2 1-20214	が図られた。						7 1 2 2 3 1 1 1 3							
														,
	指標名	(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (年度)	評価			備考		
成果指標			目標値					(+/支)				- -		- 10/ - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
1.X.X.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.Z.	相談延べ	人数(人)	実績値	722	755	687					ないのは、こ			
		•	達成率							寺に刈して、	一定の相談	神神を唯体	9 9 5 6 1 6 7	つるだめ。
「県が実施で	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と	県による				国库湖州	亜細に トロ	実施主体は者	7.苦広川 +	と字න士ひが	力技士レナカ	アハスため	目が宇佐さ	こる必要が
	を踏まえ、県	実施が必要	母子保健衛生	費等国庫補助	加金交付要綱			ま加工体は 5る大分市には						
こよる実施が	が必要か	人加西方之文				05 00 0000	. 11215 0		×1-3 C > >	75 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60 - 6	3 D()(1) T	- 3 K [K 3 K - 1		
[実施方法(
	の視点	検証結果			2 4年度まで					効率性			左の計算式	
	化、実施方法	図っている	・20年度か	ら大分大学図	医学部附属病	院に移設し、	事務を効率	化		2 2 年度	2 4 年度		総コスト	
	業務の民間委	(拡大困難)								7,123	7,386	- ₽-=		:/=
tなと)を	図っているか	() / / / / / / /-								円/人	円/人		県指標の実績	间
[総合評価]														
	現状維持			方向性の)判断理由	引き続き、	不妊で悩むタ	き婦への支援か	が必要なため	<u></u> _				
			× ·					11 = 1						
	・22年度から	は、新たなニー る相談にも対応				・啓発事業を	:実施(H24算	E績 個別相談		人、職員研修	: 4回46人	センター長講	演:1回43人	()

		談体制整備事業		事業期間	平成 24	年度~平成	年度	上位の対担当課・対		安心して子 健康対策課	どもを生み育	育てられる保 ^ん	建・医療の剤	三 美
[目的、現 》 目的	対象 妊娠	ξ等に悩みを抱える →を一人で抱え込ま		談できる	現状・課題	児童虐待 制が求めら		望まない妊娠	振や妊娠出 産	こうだい こうしょう こうしょう こうしゅう こうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅう しゅう	える者の専門	別的な相談に	応じる窓口や	P、支援体
「事業の実施	拖状況 1				-								(単	位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	体	コスト	2 2 年度	2 3 年度		2 5 (予算
壬娠の悩み株	目談センター選		等の悩みを抱え	える者に対す	る電話・面持	妾相談等	全部委託	県		総コスト			6,900	6,79
		(254件)								事業費			3,900	3,79
T+=+= /			:大分県助産的		/# · · · ·	^+1				うち一般財源			1,625	2,17
±赈期から0 員会	り相談体制整備	請推進委 関係機関	の連携体制、対	と 接体制の整	備について	英訶	直接実施	県		うち繰越額			2 000	2 00
₹ ፚ									日立				3,000 0.30	3,00 0.3
									44		】 剝期源」と「う	ち繰越額」は		
事業の成界	B \$\frac{1}{2}						l			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(1/13/1/3/1			175 05 00
事業の収え	R守 <u>]</u> 										事業(D宝结	最終	日煙
								指	標名(単位)	23年度		目標値	目標年度
事業の成果	妊娠出産等	に悩みを抱える者	が、早期に専	門的な相談を	受けること	ができた。	活動指標	相談件数(作	‡)			254		
			1		1	1		日かも子						
	指標	名(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (年度)	評価			備考		
成果指標			目標値					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		丰 业口44		r^^	L□ ∸\/ → +\\\ /→ /+	10Th -
7-70714314 120	相談	件数(件)	実績値			254					が、妊娠出産 目標値の設定		旧談文振体制	明の傩立で
			達成率							めるため、	日帰心の政権	三刀,四类。		
- 県が実施す	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
	・民間団体と を踏まえ、県 が必要か	県による 実施が必要	母子保健医療 要綱	対策等総合す	泛援事業実施	実施要綱 る。	により、実施	も 主体は都道 の	守県、指定者	『市及び中核	市とされてい	るため、県	が実施する必	必要があ
「実施方法 <i>0</i>														•
	の視点	検証結果		2	24年度まで	の主な効率化	との取組状況			効率性	生指標		左の計算式	
	比、実施方法	図っている	・大分県助産	師会へ委託し	,、事務を効	率化				2 2 年度	2 4 年度		総コスト	
	美務の民間委 図っているか	(拡大困難)								/	27 千円/人	成	/ 果指標の実績	値
総合評価]				<u> </u>	Mal please !	1912 62 5		- 150/-15	-1 / · · ·					
方向性	現状維持	はおかかいも に	- 広生記事を担					悩む者への						
改善計画等	[・] 月刊ンテイ 	情報おおいた」に	.仏古記事の掲	軽及ひ子仪、	正美寺に系	タンートの配	7.仲寺、 伯談	11数拡入に回	リムく周知					

事業名	子ども医療費 (旧乳幼児	助成事業 医療費助成事業)		事業期間	昭和 48	年度~平成	年度		施策名 局・室名	安心して子の健康対策課	どもを生み育	てられる保付	建・医療の充	実
[目的、現物	犬・課題]													
目的	対象 子ど	も(中学3年生ま	で)		■ - 現状・課題	少子化が	進行している	sことから、 -	子どもが病気	気の時にいつつ	でも受診でき	るよう子育っ	て家庭の経済	的負担の
נחם	意図 子ど	もの傷病の早期治	涂療の促進		况1八、	軽減が求め	られている。							
[事業の実施					_								(単	位:千円)
=	活動名			活動内容	I B		執行形態	事業主		コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算
ども医療費	動成		医療費助成を行	テラ市町村へ	の助成		直接補助	市町	村	総コスト	904,245	964,167	978,876	
		【则风巾	町村数】 18							事業費	901,245	962,167	976,876	, , -
										うち一般財源	901,245	962,167	976,876	1,030,83
									┢	人件費	3,000	2,000	2,000	2,00
									單	戦員数(人)	0.30	0.20	0.20	0.2
											財源」と「う	ち繰越額」は	重複する場合	診がある。
事業の成果	見等]													
								指	[標名(単位	.)	事業の			目標
= ₩ - - - - - -	 医療費の助	成により、子ども	の保健の向上	と子育てに住	半う経済的負:	担の軽減が	V-=L11213			<u></u>	23年度	2 4 年度	目標値	目標年度
事業の成果		もを安心して生み				J_ 07 + 11 / 1/3	活動指標	補助市町村数	数(中町利))	18	18		
	指標領	呂(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (年度)	評価			備考	•	
成果指標			目標値					(平度)						
ルベベリロリホ	市町村助	成件数(件)	実績値	1,228,660	1,254,517	1,274,612			達成		ないのは、助]成件数を増っ	やすことが目	目的ではな
			達成率			, ,				いため。				
県が実施す	する必要性]													
	の視点	検証結果		活動根拠						説明				
つ役割分担を	民間団体と	国による 実施が妥当	子ども医療費 綱	助成事業費剤	甫助金交付要					ての市区町村で る県政重点事業				
こよる実施が		7,10,17	74.3			, , , ,			71 3 10 12,7 7		жасы	- (
実施方法の	D効率性] の視点	検証結果			2 4 年度まで	の主か効要!	との間を持つ			対率性	十七七一		左の計算式	
	の _{倪只} 比、実施方法	快祉給未			∠ 4 牛皮ま C	の工は別学行	しい採組仏派			2 2 年度	±疳惊 2 4 年度		<u>左の計算式</u> 総コスト	
0見直し(業	は、美心力法 養務の民間委 図っているか	図れない (見直し困難)								736	768 円/人	成	総コスト / R指標の実績	値
総合評価)														
	現状維持			方向性σ)判断理由	子育て満足	度日本一の第	現に必要でる	あるため					
기미미모		月から入院医療費												

NV 4-	母子保健対	策事業 (先天 [,]	性代謝異常等検査	NK #8 88		n		上位の	施策名	安心して子。	どもを生み育	てられる保	健・医療の充	実
事業名	費)	*** ()U)()	五八四八四五	事業期間	昭和 52	年度~平成	年度		局・室名	健康対策課		, C D 1 C D PA	<u> </u>	3,7,
[目的、現	状・課題]													
□ 6 4	対象 新	生児			TE 4 1	県内で出	生するすべて	の新生児に	ついて、先	天性代謝異常	を早期に発見	し、早期治	療により障か	いの発現
目的	意図 先	天性代謝異常	を早期発見し早期治	療する	現状・課題	の予防を図					_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
[事業の実	施状況]				=								(単	位:千円)
	活動名			活動内容			執行形態	事業主	E体	コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算)
先天性代謝	異常等の検査		で出生するすべての	D新生児に血	液によるマス	ススクリー	直接実施	県		総コスト	25,175	24,715	24,094	24,352
			ノグ検査を実施							事業費	24,675	24,215	23,594	23,852
		【 3	€績】H23 10,897件	H24 10,5	693件					うち一般財源	24,675	24,215	23,594	23,852
										うち繰越額				
										人件費	500	500	500	500
									I	哉員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05
										「うち一般	財源」と「う	ち繰越額」は	t重複する場合	≀がある。
[事業の成	果等] 「							I			事業の	D宝績	最終	日煙
								指	旨標名(単位	L)	2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度
事業の成果			査の実施により、先				活動指標	受検者数()	人)		10,897	10,593		
	こしつなかり、	、子ともを安け	心して生み育てられ	る坂項つくり)か促進され	<i>ا</i> ڌ.						,		
	- 指札	票名(単位)		2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成	評価			備考		
成果指標	JH 1.	жц(т ш)	目標値	10,072	9,988	9,650	23172	(年度)	нтіш					
以未 徂憬	受材	(人)	実績値	11,114	10,897	10,593			達成				調査速報値は	t6月発表予
	X 1.	л н х л (/ (/)	達成率	110.3%		109.8%				定(確報は、	9月末発表	予定)。		
[県が実施	する必要性]													-
検証	Eの視点	検証結	果	活動根拠						説明				
	・民間団体と を踏まえ、県 が必要か			射異常等検査	実施要綱	県内で出 施する必要:		の新生児を対	対象に検査	を行う必要がる	あることから	、県産科医	会と連携して	、県が実
	の効率性]													
	Eの視点	検証結.			2 4年度まで					効率性			左の計算式	
	化、実施方法		、。 ・19年度か	ら結果連絡第	票を作成し、	事務を効率化	ይ			22年度	2 4 年度		総コスト	
	業務の民間委	(1位十甲)	. •							2,265	2,275		/	
託など)を	図っているか	1 (3/6/7 (12)	^= /							円/人	円/人	成绩	果指標の実績	値

「総合評価]

方向性	見直し(26年度)事業内容の拡充	方向性の判断理由	全国でタンデムマス法の導入が進む中、大分県は導入が遅れているため	
	┃・新しい検査法であるタンデムマス法の平成	26年度導入に向けてタ	集備	
改善計画等				
MENIEG				

事業名	育児不安すこや	かサポート事業		事業期間	平成 14	年度~平成	年度		施策名 局・室名	安心して子。 健康対策課	どもを生み育	でられる保留	健・医療の発	実
目的、現場	犬・課題]													
	対象 育児ろ	下安を抱える親や	ハイリスク養	育者		児童虐待の	の原因として	ア 子育ての	孤立化や	養育者の精神犯	库病等による	、春育力不足	子どもの名	発達 上の問
目的	意図 精神的	ーーー りに安定し、適切:	 な養育態度が	 とれる	現状・課題					は、そのような				
事業の実施													(!!	望位:千円
・事業の失加	846元 <u>]</u> 活動名			活動内容			執行形態	事業主	=休 I	コスト	2 2 年度	2 3 年度		2 5 (予算
ブループミー		育児上の調	課題に応じて、		形成		+/// 1 1 // / / / / / /	于未上	_ PT	総コスト	1.545	1,698	1.703	2 J (J/字 1,98
<i>,,</i> , , ,	, , , ,		での意見交換		712732				-	事業費	1.045		1,203	1.4
			課題に応じて、		話や助言を受	テける	直接実施	県		うち一般財源	1.045	1,198	1,203	1.4
接・電話・	訪問指導		5、訪問による			(1)				うち繰越額	1,010	1,100	1,200	.,.
-1.2 DHA	W31 33H 13				,,,,,,,				-	人件費	500	500	500	5
									I	載員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.
									ľ		財源」と「う	ち繰越額」は	重複する場合	診がある。
事業の成果	2等 1								_					
于 太 ッ///	()							+		- \	事業の	D実績	最終	目標
	## \$ 1.46.45 + 5		たいてやった	`# /*\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	E/+ ~ + 40	74.1.1—— 4s		指	「標名(単位	L)	2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度
■業の成果	精神的な安定がった。	こにより自信の回行	复や小女の軽	減か図られ、	虐待の未然	防止につな	活動指標	グループミ-	-ティング参	ទ加者数(人)	462	486		
	かうた。							相談件数(件	-)		3,168	3,805		
	指標名	(単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (年度)	評価			備考		
成果指標	グループミーテ	- -ィング対象者	目標値	100	100	100	100	(十度)						
ルルコロハル		ミーティング参加	実績値	90	95	95			概ね達成					
	率(%)		達成率	90.0%	95.0%	95.0%								
県が実施す	ス必亜性 1													
	D祝点 I	検証結果		活動根拠						説明				
・市町村・	民間団体と		地	域保健法第8	 条	安坦 了穴:	ナ+ケニ フ かい	h.u. / U. 7. / 12	美女女と	タレナス ゼリ			ナマルの声目	866 <i>+</i> > 2 8
	踏まえ、県	県による 実施が必要		子保健法第8						象とするグル <mark>・</mark> 域的調整が必				
よる実施が	^が 必要か	美 尼/J'必安	児童	虐待防止法第	34条	による対心	で母親の目が	こ又抜を11つ	判除有の仏.	吸的神罡/小心?	女はため、牙	ミルチ心りる	必女がめる。	
実施方法σ)効率性 1													
	の視点	検証結果			2 4年度まで	の主な効率化	(の取組状況	!		効率性	‡指標		左の計算式	
	公、実施方法		・市町村母子					-		2 2 年度	2 4 年度		総コスト/	
	誘の民間委	図っている	・地域の人材							3	4	グループ:	ミーティンク	で参加者数
		(拡大困難)								-m/1	-m/1			
など)を図	17 (1.27)									千円/人	千円/人	(H22:474人	,

改善計画等

目的 類 事業の実施状 活	対象 ひとり親家/ 意図 医療費負担: K況] E動名	【助成対象者】 以降最初の3月 している者と	活動 市町村への助 ひとり親家庭 331日までの	内容]成(H24.	状・課題	ひとり親る希望は高	l 1.	「得金額は一	般家庭と比輔	交して低く、約	圣済的基盤が	「弱いことから		加成に対す		
目的 類 事業の実施状 活	意図 医療費負担 法况] 医動名	が軽減される 医療費助成を行う 【助成対象者】 以降最初の38 している者と	活動 市町村への助 ひとり親家庭 331日までの	内容]成(H24.			l 1.	↑得金額は一¦	般家庭と比較	交して低く、約	圣済的基盤か	「弱いことから				
事業の実施状 活		 医療費助成を行う 【助成対象者】 以降最初の3 している者と	市町村への助 ひとり親家庭 31日までの	内容]成(H24.		る希望は高							(単	位・壬四		
活	動名	【助成対象者】 以降最初の3月 している者と	市町村への助 ひとり親家庭 31日までの]成(H24.	12から現		+1//44						(単	位・千田		
		【助成対象者】 以降最初の3月 している者と	市町村への助 ひとり親家庭 31日までの]成(H24.	12から現		ナーノー サノムビ							-lin 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
とり親家庭等	うへの医療費の助成	【助成対象者】 以降最初の3月 している者と	ひとり親家庭 31日までの		12から現		執行形態 直接補助			コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算		
		以降最初の3月 している者と	31日までの	€の親で1	成を行う市町村への助成(H24.12から現物給付)				市町村		192,973	210,672	222,431	296,0		
		している者と		対象者】ひとり親家庭の親で18歳に達する日						事業費	190,973	208,672	218,431	293,0		
			月31日までの間にある児童を監護 :その児童、父母のない児童			謢				うち一般財源	190,973	208,672	218,431	239,0		
						1+4/4)				うち繰越額	2 000	2, 000	4 000	2.0		
【補助率】市町村が助成し						J1/4)		B .		人件費 競員数(人)	2,000 0.20	2,000 0.20	4,000 0.40	3,0		
【助成件数】181,417件(23年度) 【補助金額】208,672千円(23年度)							相				0.20					
事業の成果等		【附助並設】20	0,012] (2	3千皮)						ノ ら 以		/ 57末度。 104	主接为多物口	111.00.00		
争乗の収未守	<u>の成未守」</u> 						<u> </u>				事業の実績 最終日標			目標		
						活動指標	指標名(単位)		2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年月				
業の成果で	ひとり親家庭等の医療費負担を軽減することができた。						事業実施市町村数(か所)		18	18						
								最終達成								
	指標名(単位)		達成度 22年度 23年度 24年度			2 5 年度	・ (年度)	評価	備考							
成果指標	市町村が助成した件数(件)		目標値									1のは、市町村				
ਜੇ				171,590 181,417 215,076				達成		医療費助成事業に対して、補助金交付要綱に従い義務的に 補助金の支出を行うものであるため						
		達瓦	率							補助金の支出	出を行つもの)であるため				
県が実施する																
検証の視点 検証結果 国・市町村・民間団体と 周による			活動根拠							説明						
・帀町村・民 役割分担を踏 よる実施が必	を踏まえ、県 宗による					県内全域	で一定レベノ	/以上の助成:	を維持する <i>†</i>	ためは、県に。	よる実施が必	必要である。				
実施方法の効	 b率性 1															
検証の視点検証結果			2 4年度までの主な効率化								効率性指標 22年度 24年度		左の計算式			
			・平成24年度からの現物給付化導入のため、マニ								2 4 年度	き 総コスト				
兄且し(美務の氏间妥 / ☆ 十日難 \			・定期的に市町村担当者会議を開催し、情報交換を				£実施			1,125	1,034		/			
など)を図っ	ているか (3/42)	NH / /								円/件	円/件	成身	成果指標の実績値			
総合評価]																
	状維持 現物給付化についる			1性の判断	断理由	現物給付化	に伴いコスト	が増大した	が、事業を多	定定的に継続す	する必要があ	るため				

改善計画等